

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社日本ピーエス 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営目標については将来構想、中期計画、単年度計画、部署毎に行動計画を策定し、取り組んでいる。									8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程とマニュアルがあり、社内に周知している。 ・建設業法等関係法令などを遵守し透明な事業活動に取り組んでいる。 ・関連法令の遵守状況をチェックする社内体制を構築している。																		16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・工事の入札について関係法令を遵守し違反する行為を禁止している。 ・見積りや入札の内容について確認する社内体制を構築している。														10					16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当部署を設置し、社会・環境に及ぼす影響の検討、対応を行っている。 ・ISO14001の認証を受けており、環境マネジメントシステムのもと活動を行っている。																			16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・弁護士や弁理士に相談可能な体制を整備し、適宜相談・対策を講じている。 ・就業規則において、会社の業務上の機密事項および会社の不利益となる事項を他に漏らすことを禁止している。								8.2 8.3	9										16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護に関する規定を設け、情報漏洩ならびに情報の取り扱いを厳重に行っている。																			16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・発注者やその他取引先と情報交換及び協議し、現場施工を行っている。																			16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・国や経済三団体が進めている「パートナーシップ構築宣言」に登録しており、サプライチェーン全体での共存共栄を図っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・事業継続計画(BCP)を策定し、災害に備えた訓練を実施している。										9		11		13.1				16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則に差別の禁止を定めている。 ・各種ハラスメントに対しては、ハラスメントの防止に関する規程を定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生協議会、安全教育、安全パトロール、衛生パトロール等を実施している。 ・専門部署を組成し、安全衛生に対して取り組みを行っている。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の適正な処遇に関する規程を設け、従業員の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理や業務効率化など働き方改革への取り組み、有休休暇取得奨励日の設置、半日休暇、時間休暇などの制度を整備している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・専門部署による教育カリキュラムにのっとり人材育成を行っている。 ・研修体制の整備、資格取得支援を行い資格の取得を奨励している。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・法定健康診断時の付加検診費用補助やストレスチェックの実施を行っている。 ・くるみん認定(厚生労働省)を受けている。			3					8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・多様な人材がより活躍できる環境整備に取り組んでいる。 ・障害者や外国人が活躍できる環境が整備されている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・テレワーク、WEB会議を導入するなど新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・DX担当部署を組成し、ICTを活用した業務改革に取り組んでいる。								8	9.1		11	12								
	21	【ブライツ企業】 ・ブライツ企業に認定されている。	●						3	4			8	9			12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社日本ピーエス 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の適切な管理及び処理を行っている。 ・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガスなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事業で使用する電力、燃料を集計できる仕組みを作り、電力やガスの使用量を把握している。 ・太陽光パネル、蓄電池を設置し、削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・集計したエネルギー使用量から、温室効果ガスの使用量を把握している。 ・削減目標を設定し、目標達成に向けた取組を実施している。 ・中小企業版SBTの認証を受けている。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・現場の施工方法や周辺環境、工期などの現場条件から環境への影響を検討し、対策を行っている。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・工事現場において、廃棄物の分別や在庫の共有を行っている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・現場で発生する汚水等は、河川や土壌への流出を防止するとともに適切な処理を行っている。						6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・再生紙やリサイクル製品の活用、グリーン購入対象商品の購入を推進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●									6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・工場で使用するボイラーは高効率なLPGガスボイラーを使用している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、CO2削減に係る計画を策定し、SBT認証を受けている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社日本ピーエス 熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ 施行計画書、作業手順書の周知、安全衛生パトロールを定期的実施している。 ・ ISO9001の認証を取得している。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・ 障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・ 工事現場において、誰にでも分かりやすい看板の設置や歩行者に優しい通路の確保等を行っている。 ・ 現場で快適トイレの設置等、ユニバーサルデザインを考慮している。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・ 地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●		・ コンクリートについては、現場近くの出荷業者を選定し、その他木材や材料等は可能な限り県産材を使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・ 自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7					12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		・ 自治体を中心とした橋梁等の社会インフラの維持管理が適切かつ効率的に行われることを目的とするサービスの展開を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・ 地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・ 自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・ 地域事業者として清掃活動などのボランティアに積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・ 過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ 事業所に防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・ BCPを策定し、避難行動計画や緊急時の連絡体制等を周知している。				4								11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・ 地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・ 防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9			11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・ 環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・ 職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●		・ 高校生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。 ・ 学校等と連携し、出前授業や現場見学会などを行っている。				4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・ 若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4					8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・ 子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。